

令和4年9月29日

上越市長 中川 幹太 様

八千浦区地域協議会

会長 仲田 紀夫

八千浦中学校体育館の屋根の修繕（雨漏り対策）に関する意見書

上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、八千浦中学校体育館の屋根の修繕（雨漏り対策）について自主的に審議した結果、下記のとおり意見がまとまりましたので提出いたします。

記

上越市立八千浦中学校（下荒浜）は、現在88人の生徒が在籍している八千浦区唯一の中学校であり、かつ区内の中学生だけで学ぶ、まさに住民の拠り所としての「地域の中学校」であります。当校体育館は、校舎竣工の翌年である平成元年に竣工し、築32年経過しているうえ、海に近く潮風を受ける地域であることから、塩害を被りやすい状況であります。

当体育館は、概ね週9回の体育の授業を始め、部活動や集会・学校行事等で使用しているほか、学校体育施設開放事業として、地域住民が健康増進や交流のために球技スポーツ等で利用しています。また、当体育館は災害時に4町内会（黒井、上荒浜、南荒浜、下荒浜）の住民が避難する指定避難所となっています。

当体育館の屋根が雨漏りし、発生原因や発生条件は不確定であるものの、多い時には10か所以上で漏れている状況であります。学校としては、床が濡れることで生徒や教員が転倒し負傷する恐れがあるため、教職員を中心に、時には生徒たちの協力も得て、雨漏り箇所にバケツや雑巾を置いて分かるようにし、雑巾で吸収しきれない際はモップで拭き取るなどの対応をしています。

また、この件は10数年前から懸案事項となっており、中学校から市教育委員会へ修繕の要望を出してはいますが、未だに解決できていない状況です。また、雨漏りは年々ひどくなっている状況でもあります。このように安心して快適に使用できない状況であることから、教育環境としてふさわしいとは言えず、万が一怪我による事故が発生してからの対応では遅きに失すると考えます。

当地域協議会としては、別紙のとおり調査・審議等を重ねる中で、中学校PTAを始め、学校後援会、八千浦地区明るい町づくり協議会や地元の開放事業利用団体からも、当地域の課題として、意見書を提出することに賛同いただきました。

つきましては、中学校生徒と体育館を利用する地域住民の安全を確保し、事故のないようにするため、また雨漏り対応にかかる学校現場の負担軽減を図るため、屋根の修繕による雨漏りの早期解消を要望します。あわせて、築30年経過し、施設全体が老朽化していることから、災害時における避難者の心身の負担軽減や中学生を含めた利用者の快適性・利便性の向上を図るため、附属するトイレなどの環境改善のほか利用団体からも要望のある照明やネットなど使用に支障のある設備等の改修が必要と考えており、施設の長寿命化、長期的な経費軽減も勘案いただき、早期の対応を要望します。

【地域の利用状況】

八千浦中学校体育館は学校体育施設開放事業として、地域住民が健康増進や交流のために球技等で利用しています。令和3年度では、5団体（会員数：計93人）が週1回から2回で年間約200回利用し、令和4年度は4団体が令和3年度と同様の頻度で利用しています。雨漏りの際は、学校と同じように対応しているほか、ひどい時は、雨漏りしている面を使用せずに活動しています。

また、当施設は指定避難所として、災害時に4町内（黒井、上荒浜、南荒浜、下荒浜）617世帯の住民が集まる場所となっています。令和元年の台風19号では2人の避難実績でしたが、中越地震では、最大で40人が避難したという実績もあります。また、大雨や水害で避難してきた体育館が雨漏りしている状況では、特に高齢者や子どもは心細く、心身が休まる場所とは言えないと考えます。

【地域協議会における審議経過】

体育館の屋根が雨漏りすることにより、中学校における体育の授業や部活動、集会・行事などの活動、学校体育施設開放事業の活動場所として、また災害時の避難所として、安全かつ快適に利用できない現状を捉え、令和4年3月22日から「八千浦中学校体育館の屋根の修繕（雨漏り対策）について」を自主的審議事項として審議を開始し、以下のとおり現状把握に努め、審議を進めてきました。

令和4年7月8日：八千浦中学校に於いて体育館の状況を事務局が確認しました。

令和4年7月22日：事務局が確認した内容の報告を受け、体育館を利用する地域住民、八千浦中学校生徒の安全という観点から、令和5年度の予算化を目指すものとして意見書を提出する方向性を確認しました。

令和4年8月17日

～8月26日：学校体育施設開放事業で八千浦中学校体育館を利用している4団体を対象にしたアンケート調査を実施し、雨漏りの現状及び活動への支障の有無、その他の不具合等について、利用者の声を聞き取りました。

（アンケートの結果概要は次頁）

令和4年8月25日：八千浦中学校体育館を視察し、あわせて市担当課から施設概要や考えられる雨漏りの原因と修繕方法、今後の市の対応について説明を聞き、市の考えを把握しました。

令和4年8月31日：関係団体等（八千浦中学校PTA、八千浦中学校後援会、体育館利用団体、八千浦地区明るい町づくり協議会、八千浦中学校との意見交換会を開催し、これまでの取組内容の報告や情報共有のほか、今後の取組について意見交換を行いました。あわせて、意見書を提出することへの賛同をいただきました。

【利用団体を対象にしたアンケート結果概要】

1 調査目的

学校体育施設開放事業の利用者から、雨漏りの現状及び活動への支障の有無、その他の不具合等について伺い、八千浦区地域協議会における自主的審議事項「八千浦中学校体育館の屋根の修繕について（雨漏り対策）」の今後の審議に生かすもの。

2 調査方法

【対象】八千浦中学校を利用している団体（4団体）

【方法】各団体へ調査票を送付し、回答を依頼

【期間】令和4年8月17日（水）から令和4年8月26日（金）

3 回答結果

回答団体4団体、回答率100%

4 主な意見

（ソフトバレーボール）

- ・雨の日は必ず雨漏りをしていた。ソフトバレーボールのサービスライン上に雨が落ちてきて滑るので、とても危険だった。毎回、雑巾で拭き取りをして活動していた。

（卓球）

- ・昨年から今年にかけて雨風の日に2～3回程度雨漏りがあった。体育館西側半面の北側に4か所程度雨漏りがあり、卓球台を移動し、雑巾やバケツを置き、対応した。

(スポレック)

- ・特に横なぐりの雨の時に雨漏りがひどく、その都度、雑巾やモップで拭き取って使用している。ひどい時には雨漏りをしている面を使用しないこともあった。気が付かず、滑って転びそうになったこともあった。

また、照明も点かない箇所があり、他の学校や施設と比べて全体的に暗い。

(バレーボール)

- ・小学生のバレーボールの練習で使用させていただいた。短期間だったので、その間に雨漏りでの支障はなかったが、床に凹み傷があり、プレーする時に危険なため、床にライン消しのテープを貼って練習した。

【審議経過から把握した体育館の雨漏り等の現状と対応状況】

(雨漏りの現状)

- ・雨漏りの発生条件は不確定であり、大雨で起きない時があれば、少雨でも起こることがある。風が影響しているのではないかと思われる。
- ・多い時には10か所以上雨漏りがあり、年々ひどくなっている。
- ・雨漏りが原因で床が傷んでいる箇所がある。
- ・雨漏りが原因となる照明器具への影響が懸念される。今も照明が暗いという声があり、交換等修繕には足場を組まなくてはいけないという事情がある。

(対応状況)

- ・バケツや雑巾を置き、雨漏りをしている箇所だとわかるようにしている。
- ・雑巾で水を吸収できない際は、モップ等で拭き取って対応している。
- ・授業や部活動の際は、必ずモップ等での拭き取りを行うとともに、雨漏り箇所を回避しながら活動している。そのため、床の水濡れを原因とした大きな事故及びケガは発生していない。
- ・地域住民が学校体育施設開放事業で利用する際は、雨漏り箇所を避けて（用具の移動など）活動している。雨漏りがひどい時は、雨漏りしている面を使用せずに活動することもある。

施設内の現状

体育館

7月23日 強雨の際の状況

雨漏りの影響で床の表面が剥けている



附属するトイレ

ウェット方式清掃の床

女子トイレ

(和式2、洋式1と和式の数が多い)

